

徳島大学大学教育研究ジャーナルへの論文等の投稿等について

令和2年6月9日
徳島大学FD委員会決定

1 論文の内容

徳島大学大学教育研究ジャーナル（以下「ジャーナル」という。）に投稿できる論文は、FD研究及びFD活動を中心とする高等教育に関する教育研究の成果物とし、独創的で、未発表のもの（投稿中のものを除く。）とする。ただし、口頭発表及びその配付資料はこの限りでない。

2 投稿資格

投稿資格は問わない。

3 執筆要領

(1) 論文は、次の種類に分類する。

- ア 総説 これからの大学教育に資する文献や研究成果などをレビューするもの。
- イ 原著 新しい研究成果をまとめた著述であって、独創性、新規性、発展性のあるもの。
- ウ 資料 調査などによって得られた各種データをまとめたもので、今後の研究・開発・応用等にとって有用な資料となるもの。
- エ 報告 大学教育の実践に関する実施報告、若しくは有用な実践事例を記述したもの

(2) 論文の1ページ目には、論文の種類、表題、著者名、所属、和文キーワード(3~5)、英文表題、英文著者名、英文所属、英文キーワード(3~5)を記載する。

(3) 「総説」「資料」「報告」は、本文の前に日本語の要約(300字以内)及び英語の要約(150語以内)を記載する。

(4) 「原著」は、本文の前に、日本語の要約(400字以内)及び英語の要約(180語以内)を記載する。

(5) 英語の要約は、事前に、第一言語が英語で、信頼できる人物による校閲を受けておくこととする。英文表記については、本委員会で修正することがある。

(6) 共著者は、その論文の内容に責任をもつ協力者に限られる。単なる補助者、部分的協力者は、共著者とはせず、必要であれば脚注において氏名を明記する。

(7) 原稿は常用漢字、現代かなづかいを用い、横書きとし、数字は算用数字、年号は西暦を用いる。

(8) 本文の長さは、種類を問わず、図、表、引用文献、英文要約、キーワードなどを含み、A4用紙(縦置き)で20頁以内とする。ただし、編集委員会において特に必要と認められた場合はこの限りではない。

(9) 本文は原則として、2段組とし、1枚の字数は1段22文字×42行(1頁約1,800字)で、余白は、上下25mm、左右20mmとし、段組みの間は2文字とする。

(10) 本文の文字は、MS明朝体10.5ポイントを基準とする。表題は、MSゴシック体16ポイント、副題がある場合は14ポイントとする。章節項等の見出し及びキーワードは、MSゴシック体10.5ポイントを基準とする。また、英文の表題は、Century Gothic 11ポイントを基準とする。要約は同9ポイントを基準とする。それ以外の本文中の英数字は、Times New Roman 10.5ポイントを基準とする。

(11) 句読点は、和文は句読点コンマ(,)マル(。), 欧文はコンマ(,)とピリオド(.)を使用する。

(12) 表題は、できるだけ簡潔につけることが望ましい。一連の研究の場合でも、番号の異なる同一表題は好ましくない。副題は、全角2倍ダッシュ(——)を前後につける。

(13) 英文キーワードは、固有名詞などのように大文字を使う必然性がある場合以外はすべて小文字で書き、略語を使わない。

- (14) 章節項等の見出しの上は1行空ける。また、本文は、見出しの後に行を空けずに記述する。
- (15) 見出しには、算用数字で番号を付ける。
- (16) 表や図の番号は、表1、図1のように振る。番号を振った表の題は表の上の中央に置き、番号を振った図の題は図の下の中央に置く。表や図の題はMS ゴシック体10.5ポイントとする。
- (17) 表や図の題はできるだけ簡潔にし、表・図の説明文は本文中に記載する。
- (18) 図は本文にくらべて大きな紙面を要するため、厳選し、必要なもののみを効果的に使用する。
- (19) 図の作成に当たっては色を使用しない。また、大外の枠、外枠、背景色、目盛線はつけない。
- (20) 表中の線はできるだけ少なくし、適当にスペースをとる。縦罫は最小限として、斜線は用いない。
- (21) 表の項目は、左揃えとする。数値は、有効数字を考慮して表記する。また、数字は小数点の位置、小数点以下の桁数を揃える。
- (22) 写真は、図と同様に扱われる。写真を掲載する場合には、個人が特定できないものを使用する。ポートレートは、被写体に了解が得られた場合のみ、掲載する。
- (23) 外国の人名、地名などの固有名詞は、原則として原語を用いる。
- (24) 注は、本文中、引用箇所の直後に右上付きで^{注1)}の様に記入し、本文末尾に出現順にまとめて記載する。
- (25) 参考文献は、必要最小限にとどめ、本文中、引用箇所の直後に右上付きで¹⁾の様に記入し、注の後に一括して出現順に付しまとめて記載する。同じ文献を複数回引用する場合、先の番号を用いて記載する。
- (26) 文献の記載方法は、原則として次のとおりとする。
 - ア 雑誌 : [No.]著者名：表題、雑誌名、巻(号)、始頁-終頁、西暦発行年
 - イ 書籍(日本語) : 単著または共著の場合[No.]著者名：書名、始頁-終頁、発行所、出版地、西暦発行年
 - ウ 書籍(欧語) : [No.]著者名、刊行年次、表題のほか、原則として、版数、出版地を書く。固有名詞、ドイツ語の名詞以外は、表題の最初の語頭のみ大文字で書く。表題はイタリック体とする。
 - エ インターネット : [No.]著者名、年号、資料題名、サイト名、アップデート日、<URL>、(資料にアクセスした日)

4 添付票

論文には、論文の種類、表題、著者名、所属、和文キーワード(3~5)、英文表題(英文原稿ではその日本語訳)、英文著者名、英文所属、英文キーワード(3~5)、別刷の必要部数及び連絡先を記載した添付票(様式1)を1部つける。

5 論文の投稿

- (1) 論文は、電子メールの添付ファイルとして投稿するものとする。
- (2) 論文は、「ワード」又は「一太郎」を用い、「3 執筆要領」により作成するものとする。ただし、止むを得ない理由により他の方法で作成する場合には、論文をpdfファイルとすることができる。
- (3) 論文にはページ番号を付するものとする。
- (4) 論文審査の結果、採択とされた場合には、写真、図表などの原版を提出するものとする。
- (5) 送付先は下記のとおりとする。なお、論文の投稿期間は毎年公表する。

徳島大学学務部教育支援課教育企画室 (kykikakuk@tokushima-u.ac.jp)

6 著作権

- (1) ジャーナルに掲載された論文等の著作権は、徳島大学に帰属する。他誌及び書籍へ図表を転載する場合は、出典を明示するものとする。
- (2) 本誌に掲載された論文等は、原則として徳島大学機関リポジトリに登録され、無償公開する。

7 倫理的配慮

投稿原稿に利用したデータや事例等について、研究倫理上必要な手続きを経ていることを本文又は注に明記するものとする。また、記述において関係者のプライバシーが侵害されないよう細心の注意をするものとする。

8 その他

- (1) 掲載料は無料とする。
- (2) 別刷料はすべて実費を著者が負担する。